



医療法人 桜十字

桜十字病院

中途採用看護師募集案内

回復期リハビリテーション病棟

地域包括ケア病棟

障害者施設等一般病棟

緩和ケア病棟

特殊疾患病棟

医療療養病棟（在宅復帰強化型）

病院理念

桜十字に関わる全ての人が幸せとなるモデルを全国へ
～ Happy Spiral ～

医療・福祉・予防医療を通じて

「患者さま」「地域の方々」「職員」

三者すべてが幸せとなるモデルを築き

全国に情報発信を行い、日本全土の地域医療の向上を目指す。



患者さま

患者さまに提供する医療・介護サービスは「確かな技術」に裏打ちされたものであり「患者さま中心」に提供されるものである。その患者さまに療養の必要があるのであれば、その療養生活は尊厳のある豊かなものでなければならない。



地域の方々

桜十字の手がける事業は、地域医療連携の中で重要な役割を担い、地域医療全体の底上げに寄与するものである。また、その事業のあり方として、桜十字が「あるから安心」「あって良かった」と言われるような、その地域の価値そのものを上げるようなものであることを目指す。



職員

桜十字の事業は、「医療人として成長したい」「社会に貢献したい」という思いを実現できる場を提供する。また、そこで働く者にとって、その仕事の社会的意義や職場環境など自誇りに思える職場でなければならない。

あなたの看護がきっと見つかる

630床の大きな病院の中には多くの病棟があります。回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、障害者施設等一般病棟、緩和ケア病棟、特殊疾患病棟、医療療養病棟（在宅復帰強化型）など、あなたの目指す「看護」がきっと見つかる病院です。

看護部理念

私達、桜十字看護部は患者さまの尊厳を尊重し、
身体的、精神的、社会的健康を高めるため
医療の専門性を発揮し
患者さまの立場に立った看護・介護を提供します。

病床数 630 床

回復期リハビリテーション病棟 60 床 /13 対 1

地域包括ケア病棟 45 床 /13 対 1

障害者施設等一般病棟 163 床 /10 対 1

緩和ケア病棟 25 床 /7 対 1

特殊疾患病棟 60 床 /10 対 1

医療療養病棟（在宅復帰強化型）277 床 /20 対 1

施設の特徴

在宅療養後方支援病院

脳卒中リハビリセンター

呼吸器センター

血液浄化センター

リハビリテーションセンター

- 心大血管疾患リハビリテーション
- 脳血管疾患等リハビリテーション
- 運動器リハビリテーション
- 呼吸器リハビリテーション

目次



看護部長 ごあいさつ
02



病棟紹介
03-04



摂食嚥下支援
05



教育
06



仕事の流れ
07



転職者にインタビュー
08-09



365
年間イベント
10



福利厚生
11



事業領域
12



グループ概要
13



スローガン
14



看護部長 ごあいさつ 02



井手 美智子 看護部長

ハッピースパイラル ～ HAPPY SPIRAL ～

患者さま・地域の方々そして私たち職員三者すべてが幸せとなるモデルを築き上昇拡大していく様子を表現しています。私たちはこの言葉にあるように桜十字に関わるすべての人たちが幸せを感じられるような場所を作っていきたいと思っています。当院は急性期病院を退院される患者さまの在宅復帰をサポートしたいと様々な機能を持った病棟を併せ持つケアミックス病院です。630 床の大きな病院の中には多くの病棟があります。入院対象者は高齢の方がほとんどですが、このような患者さまに対して、在宅復帰に向け生活機能の低下そう防ぎ、拘縮の改善を図る生活行動回復技術（ヒューマニティケア）や口から食べるプロジェクトに取り組み、安全安楽な看護を提供できるよう努力しています。また当院では中途採用の看護師も沢山働いています。あなたのやりたい看護がきっと見つかると思います。私たちと一緒に目指す看護を実践しましょう。

まだ経験したことがないことがたくさんある

桜十字病院で勤務し始めて 1 ヶ月経過した頃、國學院大學勤務されている柴田保之教授の筆談（ペンや鉛筆を持った重度障害者の手に手を添えて、文字を書くのを支える方法）の実践の場を見学させていただきました。その光景は今まで私が考えていた筆談ではなく、筆談と思えないほどのスピードで患者さまとの会話が行われました。患者さま自身も” どうしてこんなに早く文字が書けるのですか” と不思議がるほどでした。世の中には経験したことのない事や自分が知らないことがまだたくさんあると実感しました。そして桜十字病院のヒューマニティケアのおかげで驚くような実践を見学できるので感謝しました。まだまだ桜十字病院にはおもしろい事がたくさんあるようです。どうぞよろしくお願いします。





病棟紹介 03-04

当院は急性期病院を退院される患者さまの在宅復帰をサポートしたいと様々な病棟の機能を併せ持つケアミックス型病院です。在宅復帰に向け、回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟、在宅復帰強化型の病棟を設置し、これをバックアップするべく「口から食べるプロジェクト」やリハビリの強化に取り組んでいます。



回復期リハビリテーション病棟

回復期リハビリテーション病棟は、脳血管疾患または大腿骨頸部骨折などの病気で急性期を脱しても、まだ医学的、社会的、心理的なサポートが必要な患者さまに対して、多くの専門職がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施し、心身ともに回復した状態で自宅や社会へ戻っていただくことを目的とした病棟です。

2017年に「脳卒中リハビリセンター」を開設

当病棟の入院患者の約7割が脳血管疾患であり、後方支援病院として県内唯一、5名の脳神経外科専門医が在籍しています。「回復期リハビリテーション病棟入院料1」「体制強化加算1」の施設基準を取得しており、復職支援や自動車運転再開支援の取り組みにも力を入れ、手厚いリハビリ体制が整っています。

- 約700㎡の大規模リハビリテーション室。
- 約200名のリハスタッフが在籍。（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・歯科衛生士）



地域包括ケア病棟

急性期医療を終了し、すぐに在宅や施設へ移行するには不安のある患者さまに対し、在宅復帰に向けて医療管理、診療、看護、リハビリを行うことを目的とした病棟です。また、在宅療養中の患者さまに入院が必要となったとき、在宅医から依頼を受けて支援いたします。「退院支援計画書」に基づき、主治医、看護師、専従リハビリテーションスタッフ、MSW（医療ソーシャルワーカー）、管理栄養士などが協力して効率的に患者さまのリハビリや在宅復帰支援（相談・準備）を行っていきます。

在宅復帰を積極的に支援します

- 急性期治療が終わった直後の患者さまの受け入れをしています。
- ご自宅での生活に合わせた積極的なリハビリを実施します。
- 診療所からのご紹介により、いざというときの緊急入院が可能です。



障害者施設等一般病棟

障害者施設等一般病棟は、神経難病や何らかの疾患などで重度の肢体不自由、意識障害となられた方が主な入院対象となりますが、人工呼吸器管理を必要とされる方など、さまざまな病態の患者さまが療養されています。そのため、医師や看護師などスタッフが手厚く配置されています。

当院では平均 30 台の人工呼吸器が稼働しており、そのうち約半数が呼吸器病棟に集中しています。人工呼吸器離脱に関しては常に 60%超の高い離脱率をキープしています。



特殊疾患病棟

脊椎損傷など、重度の障害をお持ちの方が安心して長期入院治療を受けることが出来る病棟です。病態的には安定している患者さまが多い病棟です。

患者さまの思いを大切に
こころに寄り添って
サポートしてまいります。



緩和ケア病棟

緩和ケアは、がんと闘う患者さまを支え、自分らしく生きるお手伝いをするケアです。体と心、置かれた状況や人間関係、様々なところに現れた「つらさ」を我慢する必要はありません。がんによるあらゆる「つらさ」を、緩和ケアで和らげます。



医療療養病棟（在宅復帰強化型）

慢性期医療を必要とされる患者さまがより良い療養生活を送れるよう「医療」「環境」の両面でサポートしております。長期の療養にあった充実した環境を備え、様々なイベント企画など、心から喜んでいただけるよう取り組んでいます。



摂食嚥下支援 05



摂食嚥下支援

口から食べることは生命維持のための栄養、水分補給だけでなく本来的な欲求に基づく行為です。精神面の安定にもつながり「生きる力」となります。当院では、患者さまに食べる喜びを取り戻していただくとともに、生活の質を向上したいという思いから、病院を挙げて活動しています。

大きく分けて次の3つのステップで摂食嚥下支援を実践しています

- ① アセスメント期「どうすれば安全に食べられるか」を見つけていく段階。
- ② ステップアップ期「自分で」「普通食を食べられる」に近づけていく段階。
- ③ トレーニング期「ご自宅でも食べ続けられるように」定着させていく段階。



摂食嚥下支援を実践して

入院当初は胃ろうから経管栄養を流して栄養補給を行っていた患者さまが徐々に食事形態を変えていき、今では普通食を毎食全量摂取できるまで回復されています。ご家族からは「まさかまた口からご飯が食べられるとは思っていませんでした。本当に感謝でいっぱいです。」という言葉をいただき嬉しかったです。

桜十字の
摂食嚥下支援を
より詳しく！





教育 06

新しく入る職場は不安が沢山。そんな新入職の看護師を支えて成長を見守る教育制度が充実。
プリセプターが付いて日常業務から疾患の学習、精神的なフォローと幅広くサポート。
安心して成長できる環境です。

プリセプティ



看護師として就職して、はじめは分からないことだらけでした。先輩方が一つひとつの看護技術に対して丁寧に指導してくださったおかげで、自分ができる看護技術が増えていくのを実感し嬉しく感じました。
これからも患者さまに寄り添った看護を提供できるよう日々の業務を頑張っていきたいと思います。

プリセプター



プリセプターを頼まれたとき、自分にできるのか不安でした。実際に質問されても上手く説明できなかったり、知識不足で答えられなかったりしたけれど、プリセプティと一緒に勉強し、互いに知識を深めることができました。新人の考えや看護観を聞いて、自分の知識を深めることができたため、とてもいい経験になりました。





仕事の流れ 07

勤務体制 / 2 交代制

2 交代制の勤務は日勤と夜勤を組み合わせたシフトになり、夜勤明けと休みが組み合わさることが多く、「日勤→夜勤→明け→休み」というサイクルを繰り返すことが多いです。十分な睡眠時間が確保でき、連休も取りやすく、次の勤務までゆっくりと休めることがメリットです。

勤務時間

日勤 8:30 ~ 17:30

早出 7:30 ~ 16:30

遅出 10:00 ~ 19:00

夜勤 17:00 ~ 翌 9:00

看護方式

桜十字病院では「チームナースング」方式を取り入れています。1 つの病棟を 2 つ以上のチームに分け、各チームリーダーのもと、チーム単位で一定の患者を受け持ち、看護ケアを提供します。ひとりではなく、チーム全体で患者さんやスタッフをフォローすることができるメリットがあります。
(一部病棟「機能別看護」方式)



看護師長 / 田嶋師長

「看護師の1日」

8:30 業務開始!

9:00 朝礼・チームカンファレンス

9:30 患者さんのもとで
症状や体調を確認

10:00 バイタル測定、点滴更新

12:00 昼食
食事介助

12:30 休憩

13:30 昼礼・カンファレンス

15:00 記録・処置

17:00 申し送り

17:30 終礼!

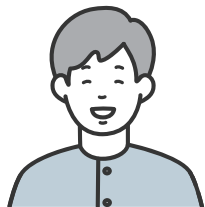


桜十字 人事部
YouTube チャンネル
「新人看護師の1日」





転職者にインタビュー 08-09



入職 3 年目
20 代看護師

Q・桜十字に就職しようと思ったきっかけは？

A・在宅復帰のスキルを磨ける

元々看護学生の時から退院支援について興味がありました。在宅復帰に向けて力を入れている病院で患者さまを亜急性期～回復期・慢性期を経て自宅または施設へ戻すためのスキルを磨けるところが桜十字病院だと思ったので就職を決めました。

Q・実際に入ってみて良かったと思ったことは？

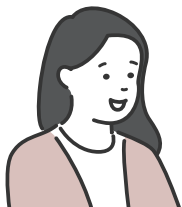
A・不安なく学びやすい

先輩方に相談しやすく、不安なく業務に取り組めることです。初めはなかなか相談ができず不安でいっぱいでしたが、先輩方が気にかけてくれて一つひとつ丁寧に教えて下さるので不安なく学びを増やすことが出来ました。

Q・入職して成長を感じられる点はどんなところですか？

A・アセスメント力が鍛えられた

私は病棟に所属していますが、本当に様々な状態で患者さまが入院してこられるのでアセスメント力は鍛えられたと思います。もちろん退院支援にも力を入れているので、在宅サービスの知識も増えました。



入職 5 年目
20 代看護師

A・患者さまに寄り添う姿勢

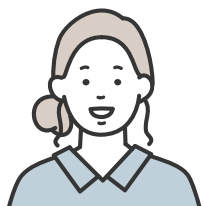
患者さまに寄り添う前向きな姿勢に共感しました。また、在宅復帰の道を閉ざさず、退院後の生活支援を行っているところも、やりがいを感じながら仕事ができる!と思いました。

A・原点を振り返ったケア

一般的な慢性期では、寝たきりになれば回復の見込みは薄く、褥瘡予防や肺炎予防を中心とした現状維持に腐心するケアを行っていました。しかし、本当に取り組まなくてはならないことは、人間の基本的欲求である“トイレで排せつする”とか“口から食べる”とか、人としての尊厳の部分なんですよ。そこを忘れずにケアに介入していく、改めて原点に戻って、何を大切にすべきか考えることができました。

A・慢性期の看護スキル

慢性期看護について成長できたと思います。病気を治すだけでなく、今後のその方の生活のためにどう関わったらいかを、多職種で考えることがやりがいです。疾患別ではないので全体を見ないといけないし、更にその患者さんの家庭環境や周りの環境すべてを含めて把握した上でゴールを設定しないといけないので、そこが慢性期看護の難しさであり、面白さだと思います。



入職 7 年目
30 代看護師

Q・桜十字に就職しようと思ったきっかけは？

A・学べなかったことを学べる

以前は急性期病院で勤務していました。元々緩和ケアに興味があったこともあり、緩和ケアや人工呼吸器の取り扱いなど、今まで学べなかったことを学べるのではないかと思います。入職しました。

Q・実際に入ってみて良かったと思ったことは？

A・看護師の役割の重要性を再認識

急性期医療を終え、リハビリ目的や長期療養目的で転院してこられる患者さまが多くおられます。その中でも人工呼吸器を離脱し経口摂取へ移行していく患者さまの回復過程に関わる中で、看護師の役割の重要性を再認識でき、やりがいを感じることができたことです。

Q・入職して成長を感じられる点はどんなところですか？

A・患者さま主語

私自身が物事を消極的にとらえてしまう性格でしたが、院内でのマネジメントスキル研修に参加させて頂き、問題点や課題を患者さま主語に変換することで、〇〇できるようにするには、どうしたらいいのか？とポジティブにとらえることができることを学びました。今も迷ったら患者さま主語で物事を考えるようにしています。



入職 10 年目
30 代看護師

A・病院敷地内の託児所

病院の敷地内に託児所があり、何かあったらすぐに駆けつけることができる環境があると思ったのがきっかけです。同じ部署でもママさんナースがいるので、育児の相談ができるのが心強いです。

A・楽しく仕事ができる！

入職し、不安と緊張の連続でしたが、日々、プリセプターやスタッフの方々が気にかけてくれて頑張ることができています。スキルアップしたいことに目を向けてくれ、院外研修の参加も積極的にできます。スタッフ同士の関係も良好で、楽しく仕事できています。

A・頼られる存在でいること

入職して 9 年目になりますが、後輩から相談を受け、自分自身も物事を考えることができ、頼られる存在でいられるということが日々の成長につながっていると思います。これからも、ナースの一員として役割を果たし、頑張っていこうと思います。



福利厚生 10



社員食堂

毎日厨房で手づくりされている社員食堂のお昼ごはんは、デザートまでついて 1 食 350 円。熊本県産の素材をメインに使い、たくさんの料理がビュッフェ形式で提供されます。スタッフの健康を考えて、栄養たっぷりの食事をとることができます。



勤労感謝の日

桜十字全てのスタッフに、感謝の気持ちを互いに伝え合うイベント「桜十字勤労感謝の日」を催しております。プレゼントの内容は、自分に対する褒美や家族など大切な方と一緒に楽しめるものなどとなっております。一緒に働く仲間同士、お互いに労いの気持ちをもちあって、これからも患者さまやご利用者さまのケアに励んでいきましょう！



表彰制度

院内学会、年間 MVP 賞、貢献社員への表彰など、桜十字には様々な表彰制度があります。



わんぱく保育園

病院の敷地内にあるスタッフ専用の保育園。0 歳児から年中さんまで預けることができます。



制服

「患者さま満足」を軸としたプロとしてのサービスとおもてなしの心。これらを忘れずに、新たな時代と価値を築いてほしい。そして、そのサービスと心は全国に誇れる一流のものであってほしい。それに相応しい桜十字オリジナルデザインの制服です。



夜勤制服

誰が日勤か夜勤か一目でわかるように制服が違います。そのため、日勤と夜勤の引継ぎがスムーズになり、残業防止につながっています。



健康診断

桜十字ではスタッフに対して通常の健康診断だけでなく、女性スタッフには子宮頸がん・乳がん、34 歳以下のスタッフには腹部エコー、35 歳以上のスタッフには胸腹部 CT や骨密度検査も行っております。また、オプションとして胃カメラや人間ドックも無償で受けることができます。

(2024 年度実績)



KUMAMOTO

VOLTERS

サークル・スポーツ

バレーやフットサル、バスケットボール、ダンスなど、仕事以外のサークル活動の楽しみもあります。違う現場で活躍しているスタッフ同士が仲良くなるきっかけにもなっています。また、桜十字がスポンサーを務める熊本ヴォルターズ、ロアッソ熊本など、プロスポーツの試合チケットを無料～社員割引で安く購入することができます。

この他にも、無料駐車場、通勤手当、団体保険など、様々な福利厚生が用意されています。

桜十字病院は患者さまをはじめ、そのご家族、地域の方々、そして、病院で働くスタッフに少しでも多くの「楽しい」をお届けするため沢山のイベントを催しています。



お正月の社員食堂はおせち料理



桜十字にはお花が一杯！

病院の庭や周りには四季の移り変わりを楽しんでいただけるよう、季節を彩るさまざまな花を植えています。



Bリーグ開幕戦！

プロバスケットボールチーム・熊本ヴォルターズの開幕戦が毎年10月初週より開催されます。



イルミネーション

患者さまやご家族にクリスマスを楽しんでいただきたいと思います。そして、お世話になっている地域に感謝を込めて、毎年クリスマス時期にイルミネーションを灯しています。



入社式



夏祭り



院内学会

桜十字で働く医師、看護師、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、管理栄養士など、それぞれの専門を活かした研究結果や仕事での取り組みを毎年発表しています。



生き活き健康教室

定期的に地域の方々に向けた健康教室を開催しています。



新入社員の「なりきり研修」

「美花隊」になりきって院内の花壇の手入れをしています。



馬追い



事業領域 12

2005年に熊本で創業。「これからの社会に何が必要か？」
を考え、変容する医療ニーズを満たし、地域社会を支える。



病院事業 Healthcare

全国に23施設(3,567床)を展開。2024年1月、福岡市に
JR九州と共同開発する「りすのこスクエア」がグランドオープン。

桜十字病院(630床)/熊本市
くまもと在宅支援病院(57床)/熊本市
桜十字八代病院(74床)熊本県八代市
桜十字八代リハビリテーション病院(199床)/熊本県八代市
桜十字熊本宇城病院(199床)/熊本県宇城市
桜十字白金リハビリテーション病院(68床)/東京都港区
桜十字福岡病院(199床)/福岡市
桜十字大手門病院(100床)/福岡市
けご病院(40床)/福岡市
花畑病院(135床)福岡県久留米市
原田病院(101床)/福岡県糸島市
【介護老人保健施設】
リハリート桜十字熊本東(120床)/熊本市
リハリート桜十字(80床)/熊本県八代市
リハリート桜十字(110床)/福岡市



桜十字病院



高齢者住宅事業 Senior Housing Facility

医療や介護が必要な高齢者に、安心安全で豊かな住環境を

全国に「ホスピタルメント」を25施設展開(全国1,591室)。

ホスピタルメント



予防医療事業 Preventive Healthcare

豊かな社会実現のために、治療から予防医療へシフト

都市部を中心に全国13の施設を展開。
健康診断・人間ドックの利用者数が年間約325,000人。

メディメッセ熊本/熊本市
桜十字福岡病院人間ドック・健診センター/福岡市
桜十字博多駅健診クリニック/福岡市
桜十字グランフロント大阪クリニック/大阪市北区
城山ガーデン桜十字クリニック/東京都港区
赤坂桜十字クリニック/東京都港区
泉ガーデン桜十字クリニック/東京都港区
恵比寿ガーデンプレイス桜十字クリニック/東京都渋谷区
恵比寿桜十字クリニック/東京都渋谷区
新宿桜十字クリニック/東京都新宿区
上野御徒町桜十字クリニック/東京都台東区



メディメッセ 桜十字 KUMAMOTO



フィットネス事業 Fitness (全国56施設/2025年3月現在)

「したい」を、「できる」に。桜十字のリハビリジム

新感覚リハビリジム Let's リハ! では、科学的評価をもとに、
効果的で楽しいリハビリを全国で実践

桜十字の新感覚リハビリジム

Let's リハ!



在宅サービス事業 At-home Service

「桜十字に相談すれば何とかなる」トータルサポート体制

居宅介護支援/9施設
訪問看護/7施設
訪問リハビリ/3施設
訪問介護/7施設
福祉器具販売・貸与/3施設



歯科支援事業 Dental Support

次代に向けた確かな連携で、持続可能な成長を支援
地域の歯科グループをサポートし、
新たな地域包括ケアモデルを創出します。



海外事業 Overseas

日本の知見を海外へ。海外の最新情報を日本に。世界の潮流を大切に。

海外在住の日本人向けクリニックや日本語と日本式介護技術を教育する
人材事業を展開。

台湾では工程者住宅を計画中。

Hospitalment in Taiwan / 台湾
LPK MAHAYANA AKSELA / インドネシア
Sakurajyuji Rojana Medical, Ltd. / タイ
Nippon Medical Care Pet. Ltd. / シンガポール
TDG-SG Global Academy(TSGA) / フィリピン



医療メディア事業 Medical Media

最新の医学情報を提供し、医療水準の向上に貢献する

国内医師カバー率80%のメディアをはじめ、
クリニックの開業・継承支援など広く事業展開。



人材事業 Human Resources

人と企業をつなぎ、地域の医療・介護への貢献を

海外で日本語学校などの教育事業、国内で医師や看護師、介護職
の派遣紹介事業を展開。



不妊治療事業 Reproductive Health & Medicine

あたらしいいのちを育む、おてつだい

桜十字ウィメンズクリニック渋谷
妊娠率78.7%(30~34歳)



美容医療事業 Aesthetic Medicine

アンチエイジングから“ウェルエイジング”の時代へ。

ライフステージの変化に寄り添い、
一人ひとりが光り輝く「ウェルエイジング」を
サポートしていきます。



ホテル事業 Hotel

人生の価値観を広げる旅を、快適にサポート

2025年に浅草、2026年に東京銀座に新たなホテルを開業予定。



Sakura Cross Hotel



スポーツ事業 Sports

生きる勇気と活力を。地域の未来を熱くする鼓動の源に

地域の皆さまの活力ある生活の創出のために、
私たちはプロバスケットボールチーム・熊本ヴォルターズを応援します。



VOLTERS



グループ概要 13

病院機能評価3rdG:Ver2.0 認定
全国の慢性期病院で最多となる
9つのS評価を獲得

認定日：2020.6.5



- 患者・家族の意見を聞き、質改善に活用している
- 患者・面会者の利便性・快適性に配慮している
- 療養生活の活性化を図り、自立支援に向けて取り組んでいる
- 栄養管理機能を適切に発揮している
- 栄養管理と食事指導を適切に行っている
- 職員にとって魅力ある職場となるよう努めている
- 地域に向けて医療に関する教育・啓発活動を行っている
- 業務の質改善に継続的に取り組んでいる
- 慢性期のリハビリテーション・ケアを適切に行っている

「病院機能評価」とは、病院の医療の質を第三者機関が評価する制度です。病院が備えているべき機能について、中立・公平な専門調査者チームによる「病院機能評価」審査を行い、一定の水準を満たした病院を「認定病院」としています。

医療法人桜十字は「健康経営優良法人」に
認定されています



健康経営優良法人認定制度とは、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから社会的な評価を受けることができる環境を整備することを目的に、日本健康会議が認定する顕彰制度です。

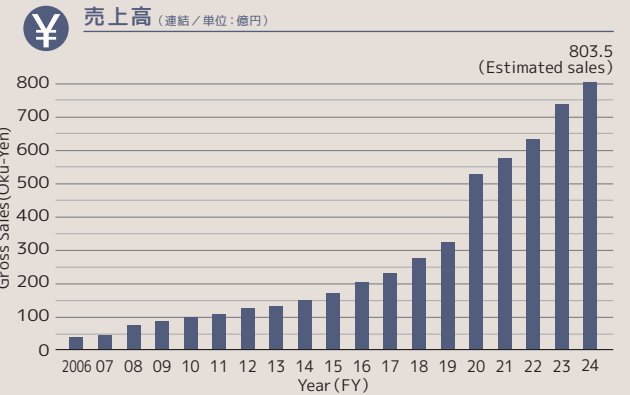
(引用元 / 経済産業省 HP)

医療法人桜十字は、熊本県より、
働く人がいきいきと輝き、安心して働き続けられる
「ブライツ企業」に認定されています



【ブライツ企業の基本要件】

- 従業員とその家族の満足度が高い
- 地域の雇用を大切にしている
- 地域社会・地域経済への貢献度が高い
- 安定した経営を行っている





スローガン
14

人生100年時代を生きる人びとが、健康かつ幸福感を感じられる社会を切り拓くため、桜十字グループがその最前線に立ち、絆組みに促されることなく、ウェルビーイングの地平をどこまでも広げていきたい。

WELL-BEING FRONTIER

人生100年時代の生きるを満たす。

私たちのフィールドはカラダだけでなく、

カラダ・こころ全部になる。

身体的・精神的・社会的。それらを包括的に捉えてこそ、

人生100年時代のウェルビーイングの地平を拓き、リードする企業になれる。

食、エンタテインメント、インテリア、アート、

住まいだってやるべき領域になっていく。

医療から、人々の健康と豊かさにつながるものすべてへ。

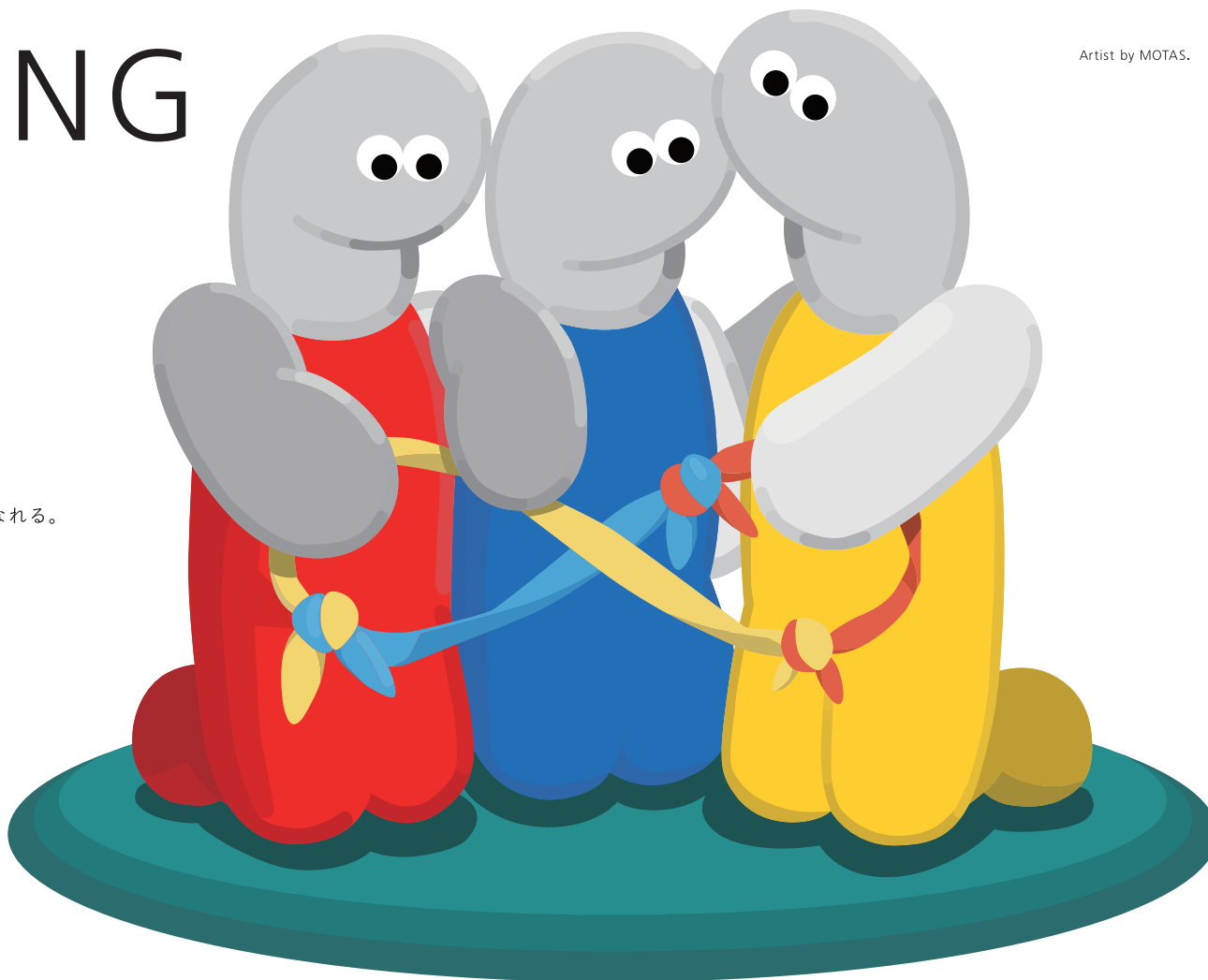
桜十字グループは、これからも企業再生・事業創造・社会創生し、

どこまでもこの国の生きるを満たしていく。

メディカル事業 ヘルスクエア事業 フィットネス事業 経営コンサルティング事業 スポーツ事業
ホテルリゾート事業 レジャー事業 海外事業 美容事業 人材事業 街づくり事業



桜十字
Sakurajyuji Group



〒861-4173 熊本県熊本市南区御幸木部1丁目1番1号
受付時間 9:00-17:00 / 土・日・祝日除く

Tel 096-378-1533
Mail jinji@sakurajyuji.jp



桜十字採用 HP
[Instagram](#)
[YouTube](#)
[Twitter](#)
[Facebook](#)